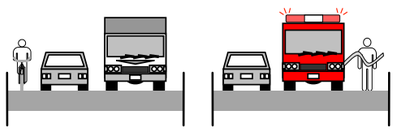
## 地区内道路の幅員と機能

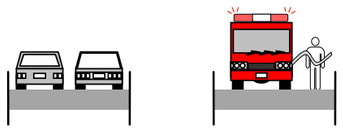
【6m道路（主要区画道路）】

・自動車のすれ違いができ、二方向の避難ができます。
・路上駐車があっても緊急車両の通行、消防活動ができます。



【4m道路（区画道路）】

・小型車同士であればすれ違いができます。
・路上駐車がなければ緊急車両の通行、消防活動ができます。

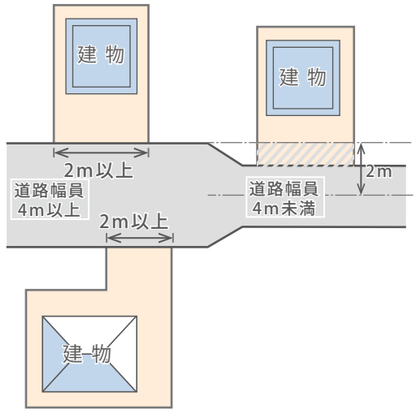


※震災等の場合、塀や電柱の倒壊等で緊急車両が通行できなくなる場合があります。

## 道路と建物の関係

建物の利便性や避難・消防活動の確保を図るため、建築物の敷地は、原則として幅員4m以上の道路に2m以上接していなくてはならないと建築基準法に定められています。

敷地の前面道路が4m未満の建物を新築や増改築する場合、道路の中心から2m後退したラインを道路境界線とする必要があります。




発行／裾野市建設部建設課
〒410-1192　静岡県裾野市佐野1059
TEL：055-995-1827
e-mail：kensetsu@city.susono.shizuoka.jp

# 裾野西地区道路整備計画

平成２５年　月

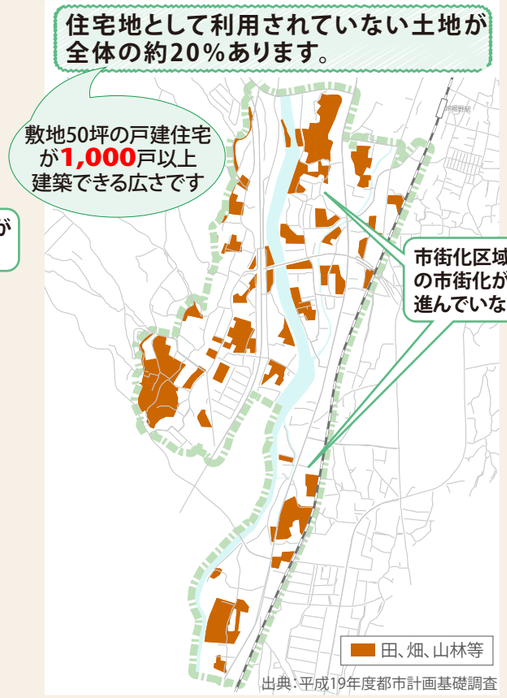
裾野市

## 地区の現況

本計画の対象区域である裾野西地区は、計画的に市街化を図るべき地域として市街化区域※1に指定されています。現在、都市計画道路※2の整備が順次進められていますが、地区内道路の整備が遅れており、市街化の推進や地区内の利便性・防災性に課題があります。

### 道路幅員

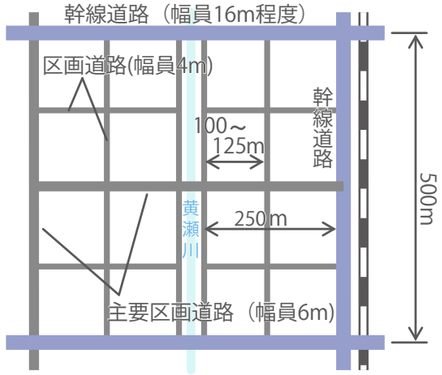
### 土地利用




## 地区内道路配置計画

地区の道路整備現況を踏まえ、以下のような配置計画により地区内道路を配置し、地区の利便性・安全性の向上、市街化の推進を図ります。

地区内道路の配置イメージ



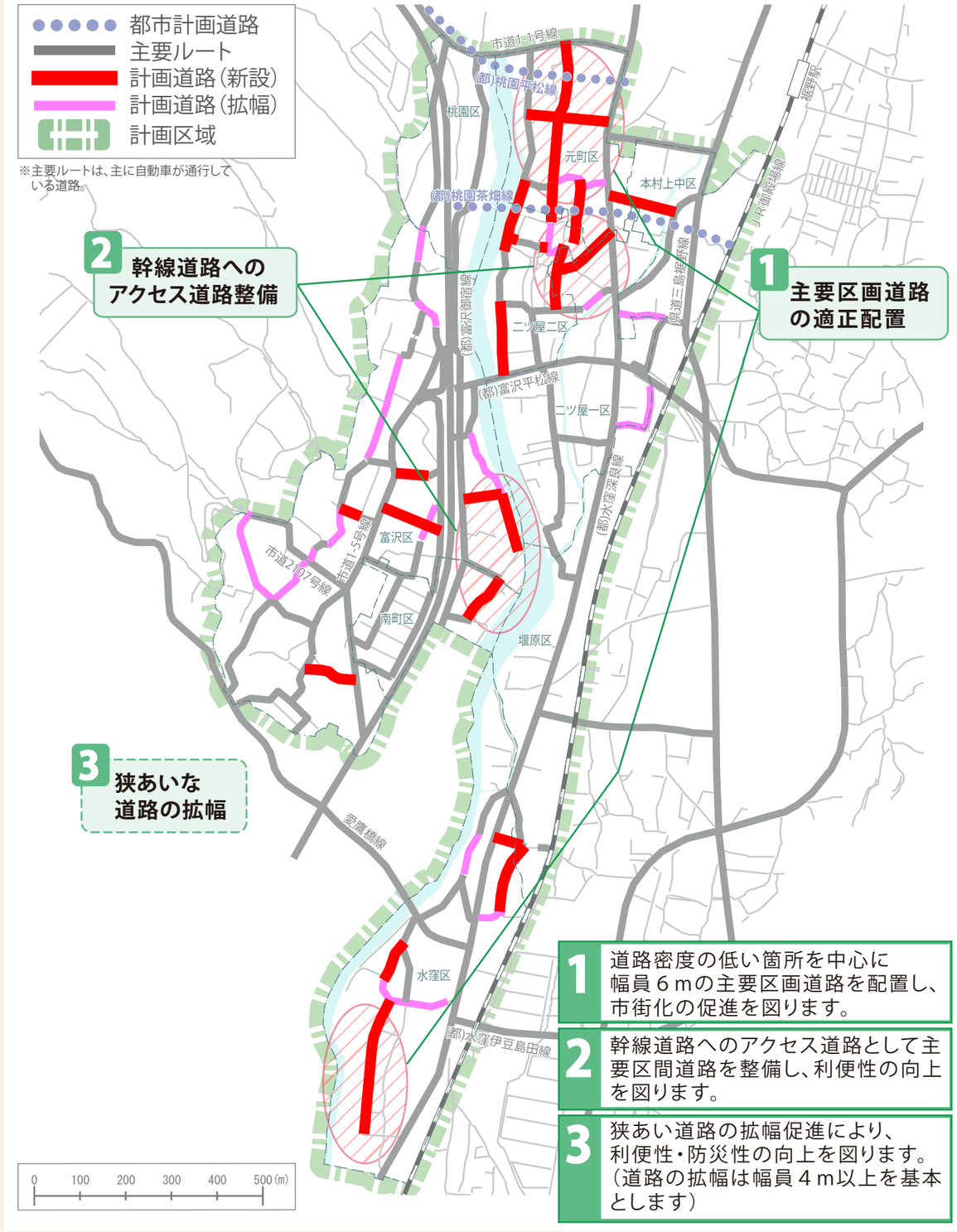

・幹線道路や鉄道に囲まれたブロック（概ね500m×500m）で、幹線道路に接続する地区内道路を配置します。

・幅員6mの主要区画道路を、250m間隔を基本に配置し、地区の利便性・防災性の向上、市街化の推進を図ります。

・幅員4m以上の区画道路を、100～125m間隔を基本に配置し、地区内道路ネットワークを形成します。（主要な通行ルートにおける狭あいな道路の拡幅を促進）

※1：市街化区域：都市計画法に基づき指定された、すでに市街地を形成している区域及びおおむね10年以内に優先的、計画的に市街化を図るべき区域です。
※2：都市計画道路：都市計画法に基づいて計画される都市施設のひとつとして、あらかじめルートや幅員などが決められた、地区の骨格を形成する道路です。

# 地区内道路整備計画図




1 道路密度の低い箇所を中心に幅員６ｍの主要区画道路を配置し、市街化の促進を図ります。

2 幹線道路へのアクセス道路として主要区間道路を整備し、利便性の向上を図ります。

3 狭あい道路の拡幅促進により、利便性・防災性の向上を図ります。（道路の拡幅は幅員４ｍ以上を基本とします）